

2024年4月16日

日本工学アカデミー会員各位

(公社) 日本工学アカデミー  
政策共創推進委員会  
委員長 永野 博

## 第9回 政治家と科学者の対話の会の開催について（お知らせ：第2報）

話題：日本の行く手と材料の選択

拝啓 皆様におかれてはいかがお過ごしでしょうか。

さて、日本工学アカデミー（EAJ）は、政策共創推進委員会を2020年7月に設置し、国会議員や国会事務部局などの立法府側と科学の側との交流を着実に進めていく体制を整えました。活動の一つとして、政治家と科学者の対話の会を位置付けています。

対話の会の目的は、政治の側と科学の側が対話を通じて双方向的に理解を深め、お互いができること、できないことを知り、相互に学びあえる関係を築いていくことにあります。これまで、2020年12月9日に「新型コロナウイルス後のイノベーションの在り方プロジェクト」をテーマとして第1回を開催して以来、8回にわたり意見交換を行ってまいりました。このうち、6回はEAJ側からの話題提供を踏まえた意見交換、前回の第8回は国会議員の側から話題提供をいただき、EAJ会員との間で意見交換をするという形で開催しました。今回の第9回は、EAJ側からの話題提供を踏まえた意見交換をすることといたしました。奮ってご参加くださるようお願いいたします。

なお、セキュリティの観点から、事前にご返事をいただき議員会館への登録をしておきませんと入場することができません。また会場との関係で、参加者数が制限される場合には先着順の受付とさせていただきますので、これらの点、ご留意いただければ幸いです。

敬具

記

日時：2024年6月5日（水）16時30分～18時00分

場所：衆議院第二議員会館第一会議室（地下1階）

[https://www.shugiin.go.jp/internet/itdb\\_annai.nsf/html/statics/kokkaimap.htm](https://www.shugiin.go.jp/internet/itdb_annai.nsf/html/statics/kokkaimap.htm)

議題：日本の行く手と材料の選択

趣旨：国立国会図書館の委託を受け立法府の参考資料として日本工学アカデミーが取りまとめた『マテリアル科学-最先端と未来への選択肢』<https://www.ndl.go.jp/jp/diet/publication/document/2024/index.html> を基に、地球環境リスクおよび経済安全保障リスク（資源、素材の公正で安定な確保・供給）を踏まえ、材料を日本の国際競争力の源泉にするためのアカデミアの選択肢を紹介し、今後の対応の方向性に関して、意見交換を行います。

このため、次の方々から話題提供をいただきます（全体計20分）。

関谷 毅 EAJ 若手委員会 委員長（大阪大学教授）『マテリアル科学と成長戦略』

門平 卓也 物質・材料研究機構 『マテリアル科学とデジタルトランスフォーメーション』

村上 進亮 東京大学教授 『マテリアル科学と資源』

長井 寿 EAJ 政策共創推進委員会 副委員長（物質・材料研究機構）『マテリアル科学と失われる資産』

その後、国会議員の方々、話題提供者、EAJ 会員の間で自由な対話を、時間の許す限り行います（60 分程度）。終了時に、参加者が名刺交換等の交流もできるようにする予定です。

参加予定：伊佐 進一 衆議院議員、大野 敬太郎 衆議院議員 他  
EAJ 会員 他

傍聴予定：科学メディア、政府・国会事務局関係者 他

参加申込：下記フォームよりお申込みください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/d576ae77145176>



問合せ先：日本工学アカデミー事務局 03-6811-0586

E-mail desk@ej.or.jp

以上